

まちづくり委員会資料

陳情の審査（視察）

陳情第50号 リニア新幹線の片平立坑掘削に伴う工事用道路建設に関する陳情

資料1 リニア中央新幹線計画の概要

資料2 片平非常口工事用道路について

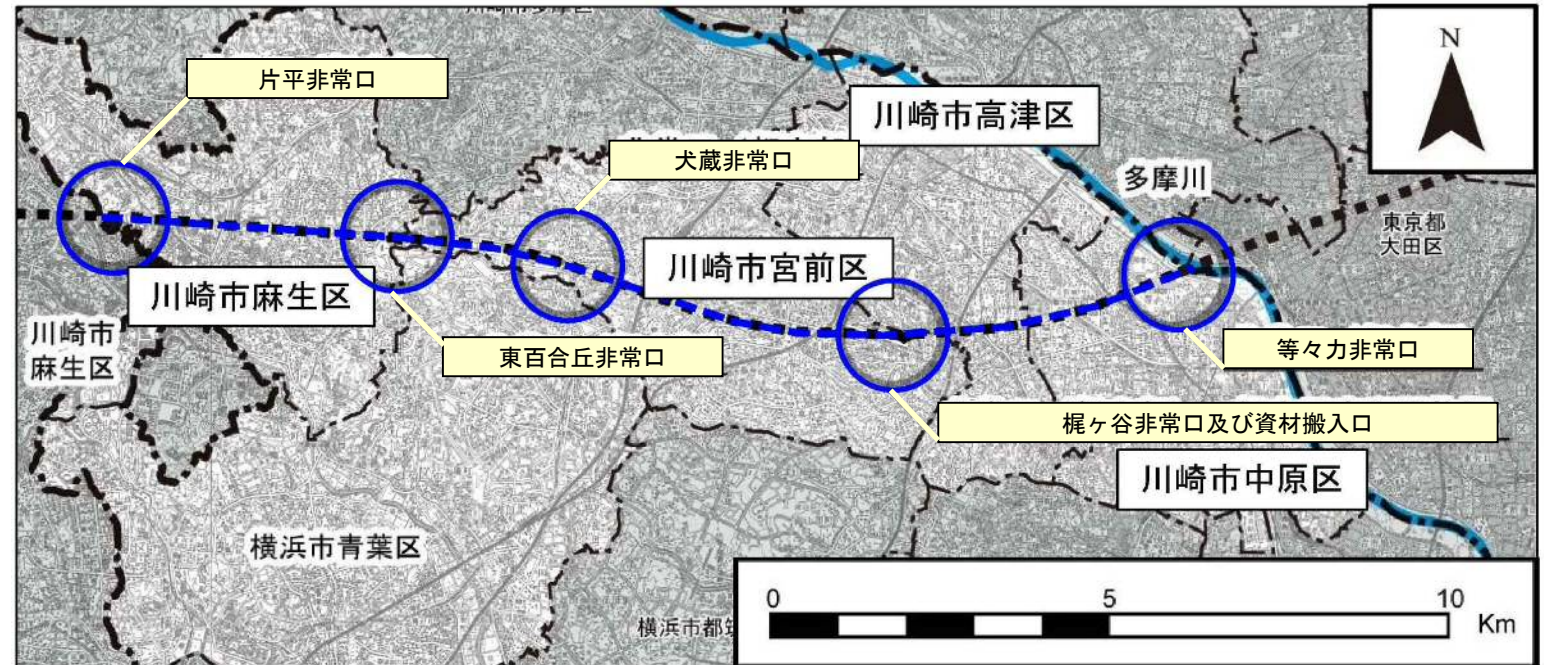
まちづくり局

1 中央新幹線計画の内容

名称及び種類	名称：中央新幹線 品川・名古屋間 種類：新幹線鉄道の建設（環境影響評価法第一種事業） 事業者：東海旅客鉄道株式会社
事業実施区域の起終点	起点：東京都港区、終点：愛知県名古屋市 主要な経過地：甲府市付近、赤石山脈（南アルプス）中南部
走行方式	超電導磁気浮上方式
最高設計速度	505km/h
工事予算	総工事費：5兆5,235億円
路線概要	「中央新幹線 品川・名古屋間」の路線は、東海道新幹線品川駅付近を起点とし、山梨リニア実験線（全体で42.8km）、甲府市付近、赤石山脈（南アルプス）中南部を経て、東海道新幹線名古屋駅付近に至る、延長約286km（地上部約40km、トンネル約246km）の区間である。 駅については、品川駅付近、名古屋駅付近のほか、神奈川県内、山梨県内、長野県内、岐阜県内に一駅ずつ設置する計画である。

2 市内の路線概要

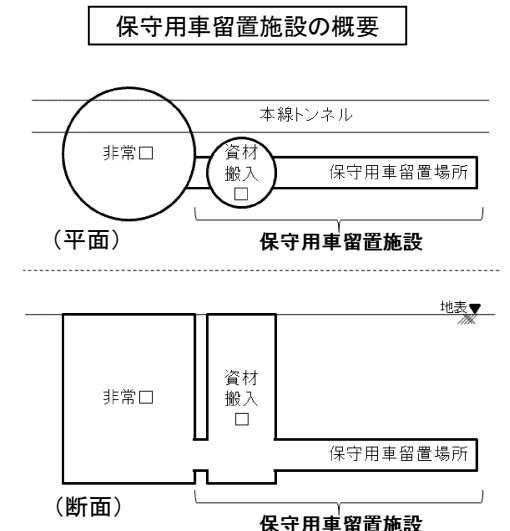
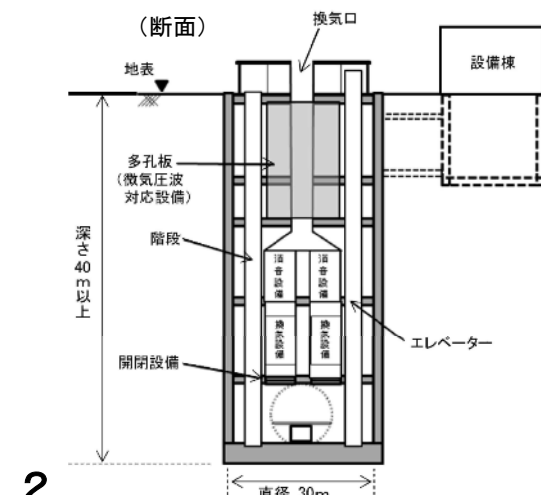
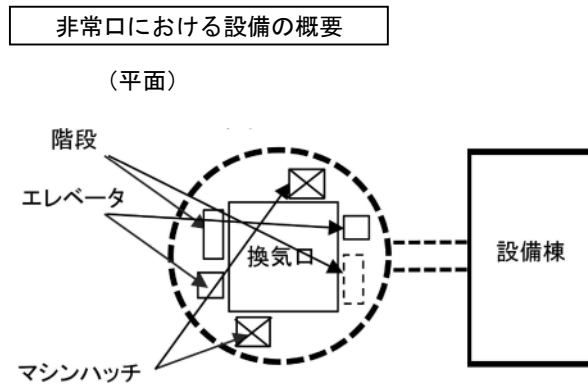
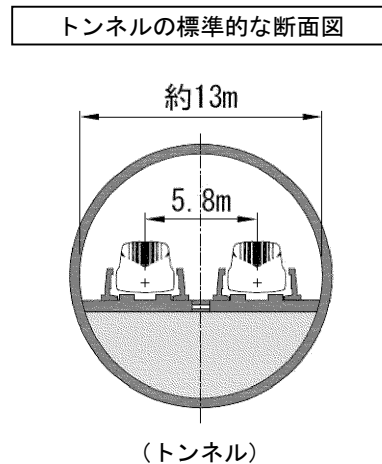
本資料は、JR東海が作成した次の資料から、川崎市が説明用に抜粋、加工したものです。
 ・「中央新幹線（東京都・名古屋市間）環境影響評価書（神奈川県）」（平成26年8月）
 ・「中央新幹線品川・名古屋間工事実施計画（その1）」（平成26年8月）
 ・「中央新幹線品川・名古屋間事業説明会【神奈川県川崎市】」（平成26年11月）



3 市内の非常口等計画地の概要

<p>片平非常口 （旧鶴川総合運動場内）</p>	<p>東百合丘非常口 （旧JSR東京研究所内）</p>	<p>犬蔵非常口 （旧サンワ川崎工場内）</p>	<p>梶ヶ谷非常口及び資材搬入口 （JR貨物梶ヶ谷ターミナル駅隣接地内）</p>	<p>等々力非常口 （旧JXホールディング等々力グラウンド内）</p>
------------------------------	---------------------------------	------------------------------	--	---

4 市内の施設・設備の概要



案内図



出典：国土地理院
※一部加工・追記

1 ルート選定の考え方

- JR 東海は、地形等の技術的な条件及び地域の生活環境等にできるだけ配慮し、なるべく短い距離で既存の幹線道路に至るよう工事道路を計画し、下図に記載のルートを選定した。



〈 凡 例 〉

- ● ● JR 東海が選定したルート
- ● 環境影響評価準備書（平成 25 年 9 月）において概念図として記されているルート
- 非常口用地
- 都県界

※JR 東海が、令和元年 12 月 21 日に開催した「中央新幹線片平非常口新設に伴う工事用道路の計画に関する説明会」の資料を抜粋し、川崎市が一部記載を加えたものです。

2 工事用車両の運行経路

※JR 東海が、令和元年 12 月 21 日に開催した「中央新幹線片平非常口新設に伴う工事用道路の計画に関する説明会」の資料を抜粋し、川崎市が一部記載を加えたものです。

